

ひらく

●一点を支点としてひらく●窓・扉をひらく●道をひらく●口・目をひらく●花がひらく●運をひらく●文化をひらく●インターネットをひらく●新聞・本をひらく●講座・会をひらく

—— 未来をひらく、心をひらく ——



2015.10

37

特集

女性が活躍するまち！小平

地域の活力を高める女性の力

男女共同参画社会をめざす

特集

地域の活力を高める女性の力

女性が活躍するまち！小平

男女共同参画社会づくりの推進を小平市が始めて約20年、現状を調べてみました

小平市が男女共同参画社会づくりを推進する施策を始めたのは平成8年。来年はそれから20年になります。私たちのまちは、「男女が共同参画するまち」になったのでしょうか？



現在の小平市議会議員のみなさん

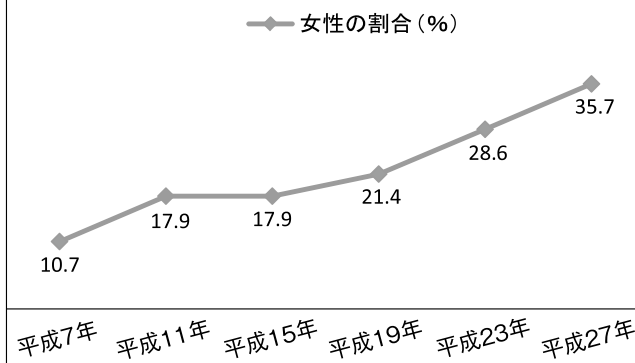
小平市議会の女性議員が

10人になりました

今年4月26日に行われた小平市議会議員選挙で10人の女性が当選し、市議会議員（28人）に占める女性の割合が35.7%になりました。2020年までに社会のあらゆる分野で「指導的地位」に女性が占める割合を少なくとも30%程度とするという国の目標を小平市は初めてクリアしたのです。

「指導的地位」とは、議会の議員、企業や自治体の課長相当職以上の管理職、医師や薬剤師、弁護士、公認会計士、大学教授、研究者などの専門職を言います。こうした分野に女性が少なく、男女共同参画社会づくりのために女性の割合を30%以上にしよう、としている

小平市議会議員 女性の割合



のです。

小平市が平成8年、女性施策推進計画書（第1次男女共同参画推進計画）を施行したとき、小平市議会の女性議員は3人、女性の割合は10.7%でした。計画書にも「2000

年（平成12年）までに…少なくとも30%になるように…努力を行っていかねばなりません」と書かれています。

残念ながら平成12年には達成されませんでした。第2次男女共同参画推進計画が施行された平成19年の市議会議員選挙で当選した女性は6人、女性の割合は21.4%と平成8年の2倍になっています。そして4年後の選挙では8人、28.6%に、8年後の今年、30%を超えたのです。これは、男女共同参画社会づくりを推進する小平市民の意識が着実に高まっている証です。

そう言えば、今回の選挙で女性の割合が30%を超えた市は、小平市以外に45%の清瀬市のほか国立市、狛江市、多摩市、調布市、東村山市、武蔵野市、7市もありました。内閣府の調査によると、全国の市町

村議会議員に占める女性の割合は12%（平成26年12月31日現在）で、東京都は他の道府県に比べると高いのですが、私たちのまち小平市でも地域の政治に参画する女性が増え、それを支持する市民も増えています。

小平市の委員会等では

委員の39.5%が女性

平成19年度に施行された小平市の第2次男女共同参画推進計画第3章第4節「さまざまな分野での男女共同参画の促進」には、市の施策として最初に「審議会・委員会等においてどちらの性の委員の割合も30%以上（達成後は50%）になるよう数値目標を設定し、その実施状況の調査と情報公開を実施するとともに、団体推薦委員の性別にとらわれない登用を働きかけるよう努めます」と書かれています。

小平市には当時（平成18年4月1日現在）、教育委員会や選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会、農業委員会など44の審議会、委員会等があり、どちらの性の委員の割合も30%〜50%の委員会等は24あり、665人の委員に占める女性

の割合は36.5%でした。それから9年経った今（平成27年4月1日現在）、48の審議会、委員会等のうち、どちらの性の委員の割合も30%〜50%の委員会等は28で、721人の委員に占める女性の割合は39.5%、いずれも少し増えています。

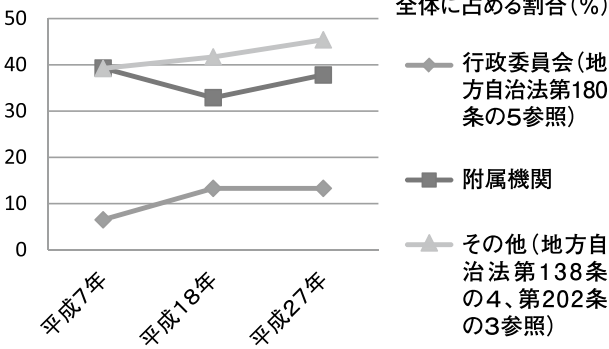
第1次推進計画が施行される前（平成7年10月1日現在）、女性の委員がいらない審議会、委員会等は9あったのですが、今は3分の1に減り、3になりました。

全体的には着実に進んでいるのですが、気になるのは20年経っても進んでいない委員会、審議会等が

9あったのですが、今は3分の1に減り、3になりました。

小平市の委員会、審議会等の女性委員

全体に占める割合(%)



市の女性管理職は

20年で22倍に

あることです。中でも東日本震災以後、女性の参画が求められるている防災会議に占める女性の割合が15.6%に止まっていることは、理由を分析して改善したいものです。

男女共同参画社会基本法第5条には「男女が、社会の対等な構成員として、国若しくは地方公共団体における政策又は民間の団体における方針の立案及び決定に共同して参画する機会が確保されることとを旨として行わなければならない」と書かれています。市の政策の立案、決定に男女が共同参画する機会を確保するには、管理職への女性職員の登用が必要なのです。

小平市の第2次男女共同参画推進計画では、市の職員について「男女職員の職域の拡大や管理職への登用、職員の研修等について推進に努めます」と、書かれています。

小平市役所や公民館など市内の公共施設で働く職員の数は、平成7年4月1日現在、1059人でしたが、平成27年4月1日現在には、100人ほど減って912人にな

女性の視点を市政に

平成14年、中央公民館の女性セミナー「女性のための政治学」の受講生が中心となり、平成15年1月より活動を始めたのが「政治・知りたい、確かめ隊」。政治は私たちの日常生活にとっても関係が深いことがわかり、「小平のことをもっと知りたい」「小平のことを知るなら、まずは市議会を傍聴しよう」と、同年6月より傍聴を開始。

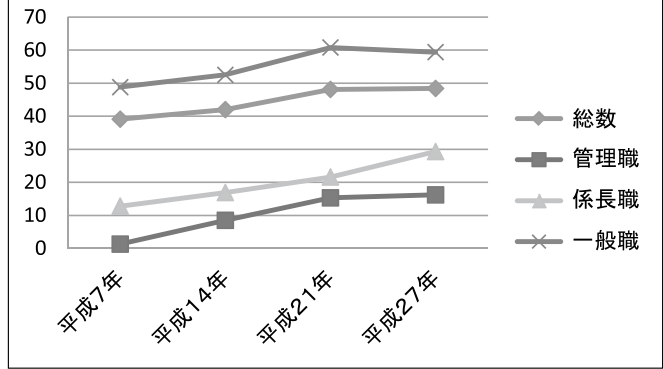
傍聴を始めた頃の議場は、市長を始め市役所の部長以上の管理職が座る理事者席に女性はゼロ。当時は、子育て、子育て支援、介護やDVのことなどの質問に対する男性理事者の答弁は、あまり当事者性を感じるものではなかった。

その後、平成17・18年度は1名（東京都からの派遣）、平成22年度は1名、平成24年度は2名、平成27年4月の選挙で、議員席の女性は10名になったというのに……。

民間企業が他社との競争に打ち勝つために、女性管理職登用を積極的に進める中、小平市も市民サービス向上のために女性の理事者（管理職）を増やして、これまで男性が気づかなかつた「女性の視点」を市政に活かすことを期待したい。

（森野やよい）

小平市役所の女性職員 全体に占める割合(%)



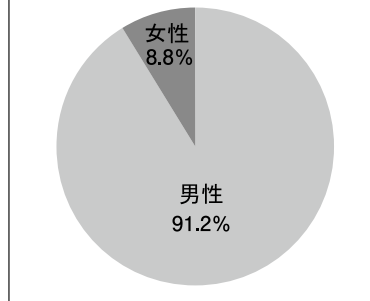
っています。しかし、女性職員の数は26人増え、女性職員が占める割合は39.2%から48.4%に上昇し、男女が対等に働く場になってきました。

でも、女性職員の管理職への登用は簡単ではありません。係長を除くその他の女性職員が占める割合は平成7年でも49.1%と高く、平成27年には59.4%、さらに10ポイント以上も増えています。しかし、係長職に占める女性職員の割合は平成7年の12.7%から29.3%、2倍以上に増えましたが目標の30%には達していません。

市の政策立案、決定に関われる課長以上の管理職となると、さらに難しいようです。平成7年には管理職81人のうち女性はたった1人だけでした。それから女性の登用に努めた結果、平成27年には20倍以上、22人に増えました。「大きな成果」に見えますが、管理職に課長補佐が加わったため総数が55人増えたからで、女性が占める割合は16.2%です。

小平市役所 事務系管理職

(平成27年4月1日現在)



さらに詳しく見ると、職員の98%が女性である保育園の園長等の

福祉系の管理職11人は全員女性ですが、事務系の管理職に限ると、114人の管理職のうち女性は10人で、割合は88%に止まっています。技術系も11人のうち女性は1人です。市役所における男女共同参画推進は、これからです。

管理職をしている人 女性の割合は9.6%

では、小平市民である私たちは、男女共同参画を推進できているのでしょうか? 「国勢調査」の結果を見てみましょう。小平市で仕事をしている女性(就業者)は、平成7年、市内に住む女性の43.6%でしたが、平成17年には40.5%、平成22年には40.3%と減っています。男性も73.5%から62.2%、60.7%と減少していて、男女差は縮小しています。

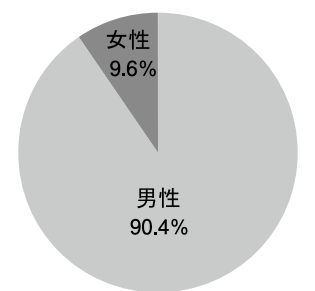
仕事をしている女性で管理職をしている人(管理的職業従事者)は、平成7年309人で、全体の7.1%でした。平成17年は189人、平成22年は179人と減っています。全体に占める女性の割合は9.6%で、少し増えています。

内閣府が平成27年公表した「男女共同参画白書」によりまずと、管理的職業従事者に占める女性の割合の全国平均は13.4%で、小平市はそれより少し低いようです。平成27年の国勢調査ではどういう結果になるのでしょうか?

今年1月に内閣府が公表した「政策・方針決定過程への女性の参画

管理的職業就業者

(平成22年国勢調査より)



状況及び地方公共団体における男女共同参画に関する取組の推進状況」調査報告によりまずと、従業員100人以上の民間企業の管理職に占める女性の割合は、係長相当職で15.4%、課長相当職8.5%、部長相当職5.1%と、小平市役所より低い数字になっています。

また、民間企業の社長に占める女性の割合は7.3%で、女性は男性に比べて「年齢や性別に関係なく仕事をしたかった」、「趣味や特技を生かしたかった」という理由で起業する人が多いそうです。

農業の分野では、小平市の農業委員会の委員に占める女性の割合は6.3%ですが、全国の農業委員会の委員に占める女性の割合も6.1%と、とても少ないようです。

教育の分野では、小学校で教頭以上の教員に占める女性の割合が

20.6%なのに、中学校では7.2%、高校では7.5%ととても少ないようです。高等専門学校の講師以上に占める割合も8.2%ですが、短大では47.8%ととても高く、大学では19.5%で、大学等の研究機関で研究している女性の割合は14.6%です。

資格試験がある専門職、たとえば検察官に占める女性の割合は15.8%、裁判官は18.7%、弁護士は18.1%、公認会計士は14.4%、医師は19.6%、歯科医師は21.5%、獣医師は27.1%ですが、薬剤師は66.5%で女性が圧倒的に多い職業です。

女性の参画を進めるには 女性が制度をつくるべし

自治体でも企業でも団体でも、政策・方針決定過程への女性の参画を進めるとき、男性からよく聞かれるのが、「参画を望む女性が少ない」という意見です。内閣府の調査でも、「管理職に昇進したい」と思う人の割合は男性より女性のほうが低い、とされていますが、「昇進するポストがない」とする人の割合は女性のほうが高いので、「昇進の制度や条件を変えれば昇進したいと思う女性が増える可能性がある

ある」としています。

管理職（政策・方針決定過程への参画）を望む女性が男性より少ない現実の背景には、仕事と同時に家事や子育てなど家庭でやることが男性より多いことがあります。昔に比べれば家事や子育てをする男性が増え、働く女性を支える施設やサービス、商品が地域に増えましたが、まだまだ女性の負担は重いのです。

女性の負担を軽減するには男性が働き方を変えて、家事や子育てをもっともつとする必要があります。男性が女性と平等に家事や子育てをやるようになれば女性の負担は軽くなり、仕事への意欲が高まり、管理職を望む女性が増えるに違いありません。

仕事以外の家事や子育て等に楽しさを見つけた男性がワーク・ライフ・バランスを考え、生き方・働き方を変えていけば、望ましい制度やポストを職場につくる女性が増え、管理職等、政策や方針を決める過程に参画する女性が増えるはず。

その先に社会の様々な場で男女が責任と楽しさを共有できる「男女共同参画社会」があるのです。

諦めないでポジティブに 仕事すれば道は開ける

10年のアメリカ暮らしから帰国した私は、職場でアメリカとの違いを実感しました。様々な変化を見せる職場で変わっていなかったことがあります。それは女性管理職の状況で、人数もポジションも未だ発展途上のままで、とても残念でした。

アメリカでは、女性管理職は普通のことで、実力のある女性がたくさん管理職に選ばれています。しかし、アメリカでも今に至るにはかなりの苦労がありました。ビジネス界は長い間、男性中心の社会で、OBと呼ばれるオールド・ボーイ・ネットワークが強く、その大きな壁を超えられず退職していった有能な女性はたくさんいました。でも、へこたれないうのがアメリカの女性です。自分たちでビジネスを起こし、実力を発揮して、女性管理職の普及につなげたのです。頑張れば、そして持続すれば大きな壁も動くのです。

日本の女性の賢さ、強さはアメリカの女性に負けないはず。女性を管理職に選ぶ際、場当たりに選ばないで、若い人たちが目標にできる女性、真に実力ある女性を、外部からでも海外からでも積極的に選ぶようになり、女性は諦めないで、ポジティブに自信持って仕事に取り組みれば、きっと道が開ける、と信じてやみません。



●アメリカ映画「赤ちゃんはトップレディがお好き」(1987)

(N・Y)

男女共同参画推進についての 市民意識・実態調査を実施

小平市の取組を 紹介します

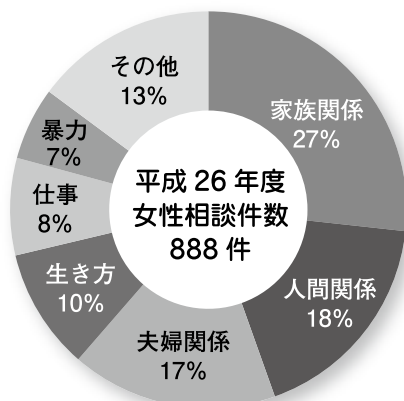
市民の男女平等の意識や男女共同参画の実態を把握し、平成29年度からの「第三次小平市男女共同参画推進計画」に反映させることを目的とした「男女共同参画推進についての市民意識・実態調査」を本年9月に実施しました。調査結果は1月に公表します。

女性のための再就職支援事業を実施します

12月以降、出産等で離職した女性の再就職を支援する研修やセミナー、実際に就労体験を行うプログラムを実施します。(産業振興課)

子育て・女性相談室（福祉会館2階）

専門の相談員が、子育ての不安や女性の悩み（生き方、家族、職場の悩み、配偶者（交際相手）からの暴力など）に応じて一緒に考えます。



《子育て相談》

月曜～土曜日（年末年始・祝日を除く）

9：45～17：30

電話・面接（要予約）

☎ 042 (345) 2416

《女性相談》

月曜～土曜日（年末年始・祝日を除く）

10：00～16：00

電話・面接（要予約）

☎ 042 (345) 2415

小平市男女共同参画推進本部が 発足しました

男女共同参画の推進を最重要課題の一つとして位置付け、庁内横断的な連絡会議を設置し、行政全体で推進する体制として、市長、副市長、教育長をはじめ各部長によって構成する「小平市男女共同参画推進本部」を新たに設置しました。

男女共同参画の担当部署が 変わりました

平成27年4月、男女共同参画施策を担当する部署が「次世代育成部 青少年男女平等課」から「地域振興部 市民協働・男女参画推進課」（市役所1階）に変わりました。

元気村まつり

10月25日（日）
10時～16時
元気村ひろば2015



今年も男女共同参画センター“ひらく”でお待ちしています。

会場：小平元気村おがわ東2階

小平市男女共同参画センター 愛称“ひらく”

内容：映画上映やカフェ、バザー、朗読会等を開催します。

◆仕事と育児・家事の両立を目指す方を支援する専門ハローワーク◆



おむつ換えや授乳ができます。



安全監視員が見守ります



お子さんがキッズスペースで遊んでいる間にママはお仕事の相談に集中!!



ゆったりしたスペースなのでベビーカーを隣に置いて求人検索ができます。



マザースハローワーク立川
…ってどんなところ?

仕事と育児・家事の両立を目指す方を支援する専門ハローワーク

- ◆お子様がお遊べるキッズスペースを完備。ゆっくり求人検索・相談ができます。
- ◆子育て中の方に限らず、結婚・家事・育児・介護等でプランがある方、将来の両立を今から考えてみたい方など、おひとりおひとりのライフスタイルにあった就職活動を支援いたします。

東京労働局 ハローワーク立川



お子さんを託児ルームに預けてママはセミナー受講中



〒190-0012 立川市曙町2-7-16 鈴春ビル5階
TEL 042 (529) 7465
FAX 042 (524) 1088
JR立川駅・多摩モノレール立川北駅 徒歩2分

開庁時間

10時00分から18時00分
土曜日・日曜日・祝日、
年末年始はお休みです

小平在住。在勤・在学の女性を訪ねて、そのいきいきした様子や元気の素を伝えます。

いきいき レディ35



病院や施設に癒しや元気を届ける
コンサートを開くグループ

やすらぎコンサート Sana (さ~な) 代表

星 美智子さん

(小川西町在住)

…気軽に音楽
楽しんでもらいたい…

星さんは3年前、国立精神・神経医療研究センター病院に転院して来た時、病院のロビーにピアノを見つけた、「いつか良くなって、ここで歌いたい」と思ったそうです。

自身が声楽家であり、闘病中に音楽で癒された経験から、病気の人やその家族、支える周りの人たちに音楽を気軽に楽しんでもらえるコンサートをしたかと思ひ、主治医にも相談し、友人のピアニスト、クラリネット奏者にも声をかけ「Sana (さ~な)」を立ち上げました。Sanaとはイタリア語で「健康な」という意味です。

念願叶い、国立精神・神経医療研究センター病院でコンサートを開くことが出来た時、お客さんにとても

喜んでもらって、うれしかったそうです。プログラムはクラシックに限らず童謡、唱歌、ポップスなど幅広いですが、高齢のお客さんが歌詞をほとんど覚えていて、すぐに口ずさんでいることには、驚いたそうです。ここでは、その後も毎年コンサートを開いていますが、他に、公立昭和病院、教会、小平元氣村おがわ東などでもコンサートを行っています。

聴衆の皆さんは一人ひとり様々な人生を歩んできて、歌をきっかけに何かを思い出す人、童心に戻って楽しむ人など、会場に感動や癒し、元気づけが起こり、心が豊かになります。

病院や施設などでのコンサートは、その中にいる人のために開いているので一般公開されていません。それで、もっと沢山のの人に音楽を楽しんでもらい、心にゆとりのある生活を送り、ストレスを解消して、精神・身体の健康のため、「将来は、どなたにも聴きに來てもらえるチャリティコンサートなどを開きたい」と星さん。

これからもコンサートで歌い続けたい星さんは、今日も声楽のレッスンに励んでいます。



「表紙作品について」

菊地 七瀬さん

(武蔵野美術大学3年)

2011年に東日本大震災があり、日本は大きな被害に見舞われた。あれから3年半ほど経つが、近頃は防災に熱心な人も、震災直後よりかなり減ってきたように思える。

それは小平市も例外ではなく、自主防災組織はあるものの、大半が高齢者というのが現状だ。そこで、小平市の子どもたちの防災意識を小さいうちから養おうと考えて、私たち、武蔵野美術大学の学生たちが創ったのが「防災クエスト」である。

ものづくりの力を生かして、ゲームのような楽しい防災訓練をつくりあげた。こわい悪魔が描かれた的を消火器で倒したり、賢者の恰好をしたおじいさんから出される防災クイズに答える。子どもたちは、ワクワクドキドキと遊んでいるうちに防災知識が増えていく。訓練はスタン



ラリー形式になっており、全部の訓練を終えスタンプが全部集まると「防災勇者」になれるのだ。

子どもたちは、普段の訓練では見られない笑顔で防災訓練に取り組んでいた。30年以内に起こるといふ大震災に備えて、子どもたちが能動的に防災と関われるきっかけになればいいと思う。

※「防災クエスト」は、今年1月、小川緑地で第1回が実施され、約40名の子どもが参加した。第2回は3月に中央公民館で実施され、約20名の子どもが参加した。

「防災クエスト」を実施した武蔵野美術大学の学生15人は視覚伝達デザイン学科の所属。その様子を撮影した映像を使って菊地さんに表紙を創っていただきました。

(「ひろく」編集部)



『ひらく』の書棚



小平市男女共同参画センター“ひらく”にある本の紹介です。本は借りることができます。

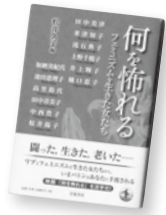
『何を怖れる』

フェミニズムを生きた女たち』

松井久子 編

☆岩波書店

1400円＋税



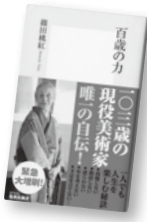
1970年のウーマン・リブ誕生から40数年、フェミニズムの第一世代として、批判や攻撃をもとめせず、最前線を走り続けた12人、田中美津、米津知子、滝石典子、上野千鶴子、井上輝子、樋口恵子、加納実紀代、池田恵理子、高里鈴代、田中喜美子、中西豊子、櫻井陽子が自らの人生とフェミニズムへの思いを語った「同時代史」です。映画「何を怖れる」もとても素晴らしいものでしたが、映画に納め切れなかった12人の思い、人生が、この本に詰まっています。何十倍の感動があります。(T)

『百歳の力』

篠田桃紅 著

☆集英社新書

700円＋税



父母から「あなたは呼吸器が弱いから長生き出来ない」と言われたわがまま娘が、いつの間にか一〇三歳の立派な現役美術家になったというお話です。

常識の世界は退屈といいながら、学識を身につけ、本を読み、芥川龍之介、太宰治、森鷗外、夏目漱石からキリストまで、世の

常識にとらわれない生き方をした人に感心しつつ、「彼らは人間としての責任感が強すぎ、短命だったのではないか」と、著者は推察しています。

生涯独身を貫いた著者は、「この世に母というものがなければ誰もいない。万物の素です」といい、それをよけて通った自分を冷静に見つめたりもしています。

また、著者はご自身を「類のない珍種」といつつ、手の届かない高い所からわれわれを見守ってくれているような不思議な気持ちにさせてくれます。(O)

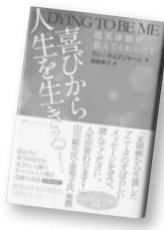
『喜びから人生をつくる』

臨死体験が教えてくれたこと』

アニータ・アムジャーニ 著

☆ナチユラルスピリット

1600円＋税



著者のアニータは、女性に従順であるべきだと教えられ、主たる役割は良妻賢母になることと育てられた。その環境に反発している自分をアニータは、いつも非難し、自分は不適合者と決めつけて責め続け、結果、ガンになります。

闘病中に臨死体験をしたアニータは、社会的に決められた偽りの基準にとらわれ自分を責め続けたからガンになった、と気づきます。そこで、病気が治癒すると生き方を変え、自分を愛し、喜びでワクワクする

人生を生きることの大切さを実感すると、それを伝える活動を始めます。読み終わると、私もアニータのように生きたいと思いました。(Y)

『沈みゆく大国 アメリカ』

堤 未東 著

☆集英社新書

720円＋税



アメリカには昨年まで、国民だれもが利用できる健康保険制度がありませんでした。そのため高額な医療費で破産する人、医療が受けられない人がたくさんいました。これを救うためにオバマ大統領は昨年、国民だれもが加入する医療保険制度を実施したので、この保険制度を扱う医師が見つからないのです。

これまでの保険より支払い率が低いうえに、治療方法や処方する薬に保険が適用されるかを保険会社に確認して請求書類を作成しなければならず、医師の負担が急増し、保険が適用されないと言う患者から責められるので、多くの医師はこの保険を扱いたくないのです。

そんなアメリカで壊されそうな医療を守ろうと行動する医師たち取材した堤さんは、日本の国民皆保険制度を「宝物」といいます。日本しか知らない私たちは、この言葉を噛みしめたいと思いました。(K)

行って みました

男女共同参画社会づくりに向けての全国会議

6月24日、東京国際フォーラム・ホールCで開催された「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」に行ってきました。

自信持ってやっていたら小平のためになる！

この会議は、「男女共同参画週間」中央行事として内閣府男女共同参画局が毎年東京で開催しているイベントです。今年は東京国際フォーラム・ホールCに全国から約900名が参加して午後1時から午後4時すぎまで行われました。

伊藤元重 東京大学大学院経済学研究科教授による基調講演「アベノミクスによる地方創生と女性の活躍」は、女性の活躍（女性力）と地方創生（地域力）が無限大の希望をもたらす、という男女共同参画週間のキャッチ・フレーズをわかりやすく話されました。「政府の政策も大事だが、重要なのは国民や地域がある方向に向かって行く（群れ）」という流れが大切だ。ある方向に向かって行く流れとは、経済は良くなっていくのだと国民が一致して考え、行動すること。それが大切だ」と。男女共同参画社会づくりも同じなのだろう。

パネル・ディスカッション「女性の活躍が地方を元気にする」は、秋好陽介さん（会社社長）、川北秀人さん（研究所代表）、佐藤郁子さん（研究所主任研究員）、鈴木英敬さん（三重県知事）、4人のパネリストが「もっと元気で長生きしたくなる社会＝日本」、「VALUE＝価値 地域に眠っている価値の発見と活用」、「日本の課題解決（人口減少に対して）」、「幸福実感の向上 地域活動をしている人間のほうが幸福度が高い」というテーマで、話されました。

今回の全国会議に参加して私が思ったことは、「小平市内のさまざまなサークルでいろいろ議論したり、話を聞いたりした範囲内で、目新しいことはないな」ということでした。小平市内で活動している私たちは、自信を持って、今までやってきたことをこれからもやっていけば、小平市のため、東京都のため、日本のためになると、私は考えます。（かず）

私も行ってみました！

特別応援メッセージとして、世界を舞台に活躍されているレーシング・ドライバーの井原慶子さんの力強い講演がありました。

井原さんは、長い下積みと苦労を経て復帰して、3回目のル・マン24時間レースで完走することができたそうです。

このことをお聞きし、感情を生きる原動力として本気で取り組むことによって、次の世代が活躍できる社会を残していくことができるのではないかと、私は思いました。（K）

平成27年度「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」プログラム

（第1部） 開会挨拶 有村治子（内閣府特命担当大臣（男女共同参画）・女性活躍担当大臣）

基調講演 伊藤元重（東京大学大学院教授）

特別応援メッセージ

井原慶子（レーシング・ドライバー）

取組事例紹介 雅楽川陽子、黒田亜子
足立 進、松崎美穂子

（第2部）

特別メッセージ 石破 茂（地方創生担当大臣）

パネルディスカッション

秋好陽介、川北秀人、佐藤郁子、鈴木英敬

ひらくはココにあります。

男女共同参画センター「ひらく」、公民館（11館）、図書館（11館）、地域センター（19館）、大学（7カ所）、福祉会館、市民総合体育館、児童館、健康センター、健康福祉事務センター、市役所、東部・西部出張所、郵便局（17カ所）、市内各駅（7カ所）、ふれあい下水道館

小川町 多加楽、手作ロクッキーの店歩、商工会館、JA 東京むさし、小平警察署、小平消防署小川出張所、南台病院

小川西町 佐野商店、たましん小平支店、NMC ギャラリー

小川東町 ギャラリー青らんぎ、フレッドファクトリー510、カフェ Air エール 上水本町 アトリエ・パンセ

津田町 ハタエコナサン、ハーティハーティ

学園西町 ビューティーサロンサンローズ、梁里館、美容室ヘアグラッシュ、本間歯科、ヘアサロンサンライズ、あかね薬局
床屋のけんちゃん、笹間住宅資材、たましん一橋学園支店、学園接骨院

学園東町 日本堂文具店、梅の里、アクティブスタジオ、りそな銀行小平支店、東京都民銀行小平支店
おだまき工房、きそ歯科クリニック、ふく歯科、寝具センター丸新、美容室Je、とりあん

美園町 多摩済生病院、カフェラガラス、珈琲の香、POEM、永田珈琲、ルネこだいら、
小平駅前クリニック、シャンブル、子育てサポートきらら

仲町 小平消防署 大沼町 ガスミュージアム

花小金井 風のシンフォニー、公立昭和病院

編集後記

初めて「ひらく」の編集に関わらせていただきました。とてもフレッシュな記事の多い「ひらく」。その誌面づくりで熱く語るみなさんの平均年齢の高さにびっくり！いい影響を受けたと思います。（N）

4月の選挙で市議会議員28名中、女性議員が10名になるなど、小平市の男女共同参画は進んでおり、市民の意識も高い。意識の高さに愛情が加われば、もっと立派なものになると思う。（Y）

「ひらく」の編集に関わって10年、市議会と市役所、市内の企業、団体と市民、それぞれの場で進み具合は違うが、進んでいることに違いはない。これからも、めげずに弛まず進めていきたい。（K）

小平市男女共同参画センター 最近の動き

センター便り・復活No.3



女性でも、男性でも、気軽に利用できます。

小平市男女共同参画センター“ひらく”は、西武線萩山駅から歩いて5分、小平元気村おがわ東の2階、小平市民活動支援センター“あすぴあ”の隣にあります。

ドアを開けると、床にじゅうたんが敷かれていますので靴を脱いでスリッパに履き替えてください。正面に黒いカ



パーをかけたテレビが見えます。公共施設には珍しい液晶テレビで、デジタルのビデオを見ることができます。40人ほど座れるイスとテーブルがありますから、ビデオ

を見て話し合ったり、学習したりできます。

目を右に向けると、書棚があります。男女共同参画社会づくりを進めるのに役立つ書籍や資料、ビデオがびっしり。市内の図書館にはない書籍、広報誌「ひらく」のバック・ナンバーもあります。書籍は借りて帰ることもできます。

書棚の反対側、都内23区17市で発行されている広報誌の最新号やイベントのピラが並んでいる棚の下には小さな子どもが遊べるおもちゃもありますし、床がじゅうたんなので子連れで利用することもできます。あなたも利用してみませんか？

あなたの明日をひらく相談室「どうしたらいいの？」

Q 我が家には、「家事はできる人がやる！」というアバウトなルールがあります。私は残業が多く、深夜の帰宅がほとんどです。帰ると、夕食の食器がそのまま、洗濯ものは外に干しっぱなしなので、私が食器を洗い、洗濯ものをたたんで、寝ます。もしやらないと、翌朝、妻は怒り、食器を投げたり、子どもを怒りちらします。そして、私がやった家事について妻は、いつも文句を言っています。このままでは家族みんながストレスをためることになります。どうしたらいいのでしょうか？
(まこと・43歳)

A 毎日、遅くまで仕事されているのですね。ご家族の生活を支える責任感がとても伝わってきます。今は“家事はできる人がやる！”というルールに振り回されているかのようにですが、本来はすてきな家族のルールです。仕事も家事も頑張ったあとは笑顔で家族と過ごせるようになりますように。まず、夫婦の信頼関係が崩れかけて

いると、お互いストレスが増すばかりです。家事をやってもやらなくても文句を言われるのは、ここが原因です。

妻との信頼関係を取り戻すには、話を聴くことが一番身近な方法です。取りとめのない話でも最後まで聞いてくれる人は、特に女性から信頼されます。まことさんの場合なら「夫が残業や深夜の帰宅が多いことを妻はどのような気持ちで受けとめてきたのか？」「妻が身体の不調や辛さを何か感じていないか？」等から問いかけてみます。

初めは妻の思いが炸裂し、話が止まらないこともあるので、時間があるときにじっくり聞き手になります。

女性が強くなったように言われますが、今の世の中は共同体意識が低いので、妻が夫を頼りたい機会は昔よりずっと増えています。妻の文句の裏にある思いには、必ず夫婦円満のヒントが隠れています。諦めずにトライしてみてください！

(カウンセラー 笠原ノリ子)

Q 5年前に5歳下の女性と結婚しました。妻は4歳の女の子をつれて再婚です。私は社宅に住んでいたのですが、妻名義の家に引っ越しました。ところが、妻の両親が同居していて、いつも一緒。私はいつも自室で一人です。朝は以前より1時間早く家を出て会社に行きます。両親は収入がなく稼ぎは私だけなのですが、小遣いは3万円だけ。どうしたらいいのでしょうか？離婚したいのですが…。
(ゆうじ・41歳)

A 結婚と同時に父親になり、家族の柱として頑張っても“いつも自室に一人暮らし”では、幸せな夫婦生活とはいえません。ゆうじさんが離婚を考えるようになっても無理ないことでしょう。

とはいえ、離婚はお互いの考えや条件が合わなければ簡単にできるものではありません。連れ子をとまなう結婚では離縁(養子縁組)の問題も含まれます。離婚を決心する前にあらかじめ法律相談を受け、お金のこと、義務や権利など必要な情報を得ておくこと余計なトラブルを防げます。

もし離婚しないことに越したことはないと思うのであれば夫婦生活に工夫をしてみます。妻と両親の間に割り込むことができないなら、夫婦二人だけで外出する時間はとれますか？半日か1日、子どもは両親に面倒みてもらい、帰りは手土産の一つでも買って帰るのです。妻に便乗して夫婦一緒に両親に甘えることができれば、丸ごとつき合う関係へ変われます。

“この家で稼いでいるのは私だけ”という考えは妻の持ち家のおかげで家賃や住宅ローン分が浮いていると考える、“小遣い3万円だけ”は、貯金が増えると考え、というように見方を変えてみるのです。関係が好転すれば、きっと小遣い値上げの交渉もできるでしょう。

離婚でも修復でも、ゆうじさんの人生です。5年後、10年後の先の幸せを考え、焦らず判断してください！

(カウンセラー 笠原ノリ子)

ひらく

第37号
平成27年10月発行

発行/小平市地域振興部市民協働・男女参画推進課
☎ 042-346-9618 FAX 042-346-9575

企画・編集/男女共同参画推進実行委員会

安食世津子	岡 武左	北川 紘二
岸 和夫	酒井 愛	寿福院美屋子
高橋 雅子	野崎 裕子	吉岡 博江
吉村 順介		